

第2回宮本CUPサッカー大会3年生

実施要項

1. 主催 宮本ジュニアサッカークラブ
2. 協賛 ハイパースポーツ(株)
3. 協力 峰台SSS、中野木FC、法典東FC、芝山東FC(会場提供チーム)
4. 目的子供たちがゲームを通じてフェアプレーの精神を学び、また各チームとの交流を図りながらサッカーへの情熱を深める。
5. 期日
予選リーグ:平成23年2月26日(土曜日)雨天決行予備日なし
準決勝リーグ:平成23年3月12日(土曜日)予備日:3月13日(日曜日)
決勝トーナメント:平成23年3月21日(月曜日)予備日:3月26日(土曜日)
6. 予選会場 峰台小学校、中野木小学校、法典東小学校、芝山東小学校、
準決勝会場 宮本小学校
決勝会場 ミナトサッカークラブ(鎌ヶ谷市)

(1)予選リーグ(計32チーム)

Wブロック(Aグループ4チーム、Bグループ4チーム)

Xブロック(Cグループ4チーム、Dグループ4チーム)

Yブロック(Eグループ4チーム、Fグループ4チーム)

Zブロック(Gグループ4チーム、Hグループ4チーム)

各ブロック4チームずつ(各グループ上位2チーム)が準決勝リーグに進出

(1)準決勝リーグ(計16チーム)各ブロック4チームずつ(各グループ上位2チーム)が決勝トーナメントに進出

(2)決勝トーナメント(計8チーム)

参加条件

- (1)小学校3年生の部は3年生以下の男女とする。
- (2)1チーム1名以上の審判を帯同していること。
- (3)選手は健康であり、保護者の同意を得ていること。
- (4)スポーツ傷害保険に加入していること。

連絡、問合せ先

宮本JSC 事務局 中村康之 (ハイパースポーツ(株))

船橋市若松1-1-21-204

TEL、FAX 047-432-7446 nakamura@hypersports-market.com

Mobile 070-6521-3593 tobe-soccerkozo@wm.pdx.ne.jp

7. 大会規定

7.1 参加条件

- (1) 小学校3年生の部は3年生以下の男女とする。
- (2) 1チーム1名以上の審判を帯同していること。
- (3) 選手は健康であり、保護者の同意を得ていること。
- (4) スポーツ傷害保険に加入していること。

7.2 順位の決定

(1) 予選リーグ

順位の決定は勝ち点により行う。(勝ち3点、引き分け1点、負け0点)勝ち点と同じ場合は、得失点差、総得点、対戦結果、PK戦の順で決定する。

(2) 決勝トーナメント

予選リーグ上位2位までのチームが決勝トーナメントに進出できる。

(3) PK戦

PK戦は、試合終了時に競技者(ベンチにいる交代選手も含む)のより多いチームは、相手チームの人数と等しくなるように競技者数を減らし、それらの選手の中から任意に選出した3人の選手で行う。同点の場合は、以降サドンデスとする。4本目以後のキックは、最初の3本のキックを行っていない選手が行う。選手全員がキックを行った後、2巡目のキックは1巡目と違う順序でもよい。

7.3 試合方法

(1) 試合時間は10分ハーフ(10分 - 3分 - 10分)とする。

(2) 競技者の数は1チーム5人(うち1人はゴールキーパー)とする。試合開始時に、1チーム4人で試合は成立、1チーム3人以下の場合は不戦敗とする。

(3) 交代要員数および交代回数の制限は設けない。

交代は、タッチラインの中央に設けた交代ゾーンから、インプレー中、アウトオブプレー中に、自由に何度でも行える。ただし、プレー中の選手が完全にコートを出てから、交代選手が入ること。これに違反した場合は、その時にボールのあった地点で、相手側に間接フリーキックを与える。また、ゴールキーパーの交代もインプレー中、アウトオブプレー中に自由に行えるが、フィールドプレーヤーと異なるユニフォームを着用すること。

(4) 競技場は縦約40m、横約25mの長方形、ゴールの大きさは幅3m、高さ2mとする。ペナルティエリアは、ゴールラインから両ゴールポストの外側を中心に半径6メートルの1/4円弧を描き、その両端をゴールラインと平行な線で結び、これらとゴールラインによって囲まれた部分とする。また、ペナルティマークはゴールラインの中央から直角の方向に6メートル離れた地点とする。コーナークラークは、半径25cmの四分円とし、コーナーフラッグは設けない。

7.4 ルール

日本サッカー協会のフットサル競技規則に準ずる。

(1) 審判

審判は主審、副審の2名で、タッチライン方式とする。

(2)競技の開始

トスに勝ったチームが、エンドを選ぶ。キックオフから直接得点することはできない。

(3)反則

基本的にはサッカーの規則に準ずるが、スライディングタックルは禁止とする。これらに違反した場合は、相手側に直接フリーキックを与える。タックルではない単なるスライディングは認められる。また、自分のペナルティエリア内のゴールキーパーに関しては、不用意に、無謀に、あるいは過剰な力で行ったスライディングでなければ認められる。

フリーキックの時、相手側は5m以上離れること。守備側の選手が自分の側のペナルティエリア内で直接フリーキックに相当する反則を犯した場合は、相手側にペナルティキックを与える。また、ペナルティエリア

内で守備側が間接フリーキックに相当する反則を犯した場合には、違反が起きた地点に最も近いペナルティエリアライン上から間接フリーキックを行う。ペナルティエリア内で攻撃側が反則を犯した場合に守備側に与えられるフリーキックは、直接、間接にかかわらず、ペナルティエリア内の任意の地点から行う。

(4)キックイン

スローインの代わりにキックインで競技を再開する(間接フリーキック)。この時ボールはタッチライン上に置くこと。キッカーは、キックの際に軸足の一部をタッチライン上またはタッチラインの外のグラウンド上につけていなければならない。

(5)キーパーズロー

ゴールキックの代わりにキーパーズローで競技を再開する。ノーバウンドでハーフウェイラインを越えてはいけない。

(6)ゴールキーパーのプレー

インプレー中にキャッチしたボールは、投げるか、蹴ることができ、ドロップキックで蹴った場合はノーバウンドでハーフウェイラインを越えてもよいが、投げたボールとパントキックで蹴った場合はノーバウンドでハーフウェイラインを越えてはいけない。

(7)バックパス

ゴールキーパーへのキックによるバックパス(キックインを含む)は何度でもできるが、手で扱うことはできない。

(8)オフサイド

オフサイドはなし。

(9)退場

退場者があった場合には、2分間の罰則時間後に競技者を補充できる。ただし、退場者はその試合と次の1試合に出場できない。

(10)4秒ルール

キーパーズロー、フリーキック、キックインなどのリプレーに対する4秒ルールは適用しないが、速やかに行うこと。

7.5 試合球

試合球は小学生用フットサルボールとする。試合球は各チームの持ち寄りとする。

7.6 不戦勝、不戦敗

原則として、試合開始時刻に10分以上遅れた場合は不戦敗とする。この時、不戦勝チームの勝ち点は3、得点は5、不戦敗チームの勝ち点は0、失点は5とする。

7.7 大会の延期

荒天等により大会を延期する場合は、当日午前6:30までに決定し、実施責任者から各チーム代表者に電話で連絡を行う。

8.表彰

優勝、準優勝、3位を表彰する。

9. その他

- (1)選手は必ずすね当てを着用すること。
- (2)審判は審判服を着用すること。
- (3)大会前に選手の健康チェックを行うこと。
- (4)けがについては、チームの責任において対処すること。
- (5)花壇(芝生)の中は立入禁止、また昼食時に出るゴミ等は各自持ち帰ること。
- (6)各チームに駐車票を発行しますので、当日提示して下さい。ただし、満車の場合は駐車できないこともありますので、ご了承下さい。また、駐車票のない車は駐車できません。
- (7)大会参加費1チームあたり4千円(2チームならば8千円)。各会場本部にて集めますので、大会当日に持参して下さい。

10. 連絡、問合せ先

宮本JSC 事務局 中村康之

船橋市若松1 - 1 - 21 - 204

TEL, FAX 047 - 432 - 7446 nakamura@hypersports-market.com

Mobile 070 - 6521 - 3593 tobe-soccerkozo@wm.pdx.ne.jp